

# 令和6年度

## 学校図書館活用推進 実践報告



新潟市立早通小学校



# 1. 実態と課題

<令和5年度>

児童一人あたりの貸し出し冊数 78冊

- ・ 休み時間の来館者が少ない。
- ・ 時間割に割り当てられているはずの図書の時間に、来館がない。(高学年)

## ●探求学習の実態

自ら課題をもち、その探求に必要な情報を収集しようという意欲はある。また、友達と課題を共有し、進んで話し合ったり考えを深めたりする様子が見られる。

しかし、集めたい資料の中から必要なものを選び出し、それらを有効に活用することにおいてまだ弱さが見られる。

## ●今年度の課題

複数の資料の中から必要な情報を収集・選択し、適切に活用する力を高める。

## 2. 今年度の取り組み

### ①読書センターの充実

#### ・「はじめてのものがたり」コーナーを新設

「児童書を読ませたいけれど子どもが選べない。」という低学年の担任の声を受け、司書が9類の本の中から、文字が大きく挿絵も豊富な良書を選書し『はじめてのものがたり』の棚へ配架。トップネット（図書館システム）でも別置登録に変更。



低学年でもわかりやすいように、請求ラベルの上にピンクシールを貼付して配架。

字のたくさんある本は  
読めるかな？  
どうやって選べば  
いいのか分からない…



絵本から児童書への  
ステップアップ

#### ・シールラリー

達成するごとにシールラリーカードの色が変わるので、達成感がさらにUP。



貸し出し意欲の向上

→目標の可視化



今、何冊ですか？

# ・読書旬間

読書の木



図書委員会おすすめの本



縦割り班読み聞かせ



委員会イベント ハッピーおみくじ&読書ビンゴ



# ・うちどく

## うちどく (家庭読書) カード

実施期間 : 11月18日(月)~12月1日(日)

<うちどく(家庭読書)の方法>

例えば...

- ・家族に本の読み聞かせをする(してもらう)。
- ・家族で読んだ本の感想を伝え合う、または本を紹介する。
- ・家族で同じ時間にそれぞれ読書を楽しむ。
- ・家族で同じ本を一緒に読む。...

各家庭でのやり方で、読書を楽しんでみてください。

読書をするときは、テレビなどを消して静かなところで。



※図書館から借りた本だけでなく、お家にある本でもよいです。読む本は、マンガ・図鑑以外の本にしましょう。

うちどくをした日 月 日 ( )

うちどくをやってみた感想

---

---

---

---

おうちの方から

---

---

---

\*12/2(月)に担任の先生へ提出しましょう。

# 子どもたちの感想

- ・いつもは音読を聞いてもらうけれど、「うちどく」で久しぶりに絵本を読んでもらってうれしかったです。
- ・家族にお話を読み聞かせしました。みんなが「上手。」と言ってくれたので、またやりたいです。
- ・家族で本を読みました。いつもは1人だけど、みんなで同じお話のことを話せるのは楽しいなと思いました。



# お家の方からの声

- ・一緒に読書をして、同じ場面で笑ったり絵の中から登場人物を探したり、楽しめました。
- ・家族が集まり、読み聞かせをしてもらったので、貴重な時間を過ごせました。メディアから離れ、本を読む機会をつくることは大切だと感じました。
- ・今、子どもがどんなことに興味があるのか、読んでいる本で分かりました。おすすめの本を教えてもらったので、読んでみたいと思います。
- ・感情をこめて絵本の読み聞かせをしてくれ、お話を聞く側もその世界に入り込めて、とても楽しかったです。
- ・読んでいる本の感想を伝え合うということをあまりしていなかったので、親子のとてもよい時間になりました。

## ・朝読書（月曜の朝活動は、朝読書と設定）



朝読書をすることで、

- 落ち着いて1日をスタートさせることができる！
- 活字に集中することで、スムーズに学習に取り組む準備が整う！

## ・ボランティアや司書による読み聞かせ

（学年や季節に応じた本を読み聞かせ）



どんなお話を読んで  
もらえるのかな。



# ・月ごとの図書館前掲示や館内展示



学習している単元の関連本を展示



季節に合わせた展示



全校朝会で校長先生が紹介された本の展示



授業で作成した成果物と関連本の展示

## ②学習センターの充実

### 学校図書館全体計画の見直し

### 学校図書館活用計画の作成と追加・修正

#### 令和6年度 図書館教育全体計画

<b>図書システムの活用</b> ・児童は、本の検索や予約、人気ランキングなどを見ることができる。 ・学級担任や図書委員会は、貸出業務を行うことができる。 ・学校図書館司書は、図書システムを利用して本の紹介をするなど、活用を推奨する。	<b>教育目標</b> たくましく のびゆく子	新潟市立早通小学校  <b>児童の実態</b> ・図書の時間では、進んで借りたり読書したりする姿が見られる。 ・読書する子としない子の2極化が見られる。 ・課題解決に必要な資料を探し、活用する力に差がある。
	<b>重点目標</b> 夢と自信をもって学びに向かい、積極的に人や社会と関わりながら、より良い生き方を求めていく子ども	
	<b>図書館教育目標</b> (読書) 読書に親む子ども (学習) 資料を活用し学びを深める子ども (情報) 情報を収集・選択・活用できる子ども	
	<b>図書館教育の指導の重点</b> (読書) 進んで読書しようとする意欲を高める。 (学習) 資料を活用し、学びにつなげる力を育てる。 (情報) 情報の収集・選択・活用能力を高める。	

#### 図書館教育運営の方針

- ① 利用しやすい図書館運営に努める。
- ② 各教科との関連を図り、計画的な図書購入と図書資料の充実を努める。
- ③ 児童の読書量の維持・向上と、読書領域の拡充を図る。
- ④ 図書や新聞等を活用し、子どもが主体的に課題解決できる場づくりに努める。

#### 各学年の指導の重点

	低学年	中学年	高学年
読書	楽しんで読書しようとする態度を育てる。	幅広く読書しようとする態度を育てる。	進んで読書し、考えを広めたり深めたりする態度を育てる。
学習	図書館利用の仕方や本の扱い方を知り、図書館を利用することができるようにする。	学習に必要な資料を自ら探して読むことができるようにする。	課題解決に向け複数の資料を活用できるようにする。
情報	図鑑や科学的なことが書かれた本があることを知り、興味を持つことができるようにする。	事典や図鑑を参考にして必要な情報を集め、活用できるようにする。	必要な情報を選択収集し、適切に活用して課題解決し、発問できるようにする。

#### 各教科・道徳・特別活動等との関連

各教科	総合	道徳
・各教科の教材と関連させながら、読書活動の充実を図る。  <b>特別活動</b> ・「読み聞かせ」や「読書月間(週間)」を通して読書の意欲を高める。 ・図書委員会の活動の活性化を図る。	・課題解決に必要な資料を収集し、活用する力を育てる。  <b>その他の活動</b> ・朝読書を通して、読書の習慣化を図る。	・様々な読み物を読むことを通じて、豊かな心情を培い、自分・他者への理解や尊重する態度を育てる。  <b>家庭・地域との連携</b> ・公共図書館との連携を密にし、資料の充実を図る。 ・定期的に地域ボランティアによる読み聞かせを行う。 ・長期休業等に、地域開放を行い、地域との交流を図る。 ・「図書館だより」の発行や「うちどく」を奨励することによって、読書の啓発に努める。

#### 令和6年度 学校図書館年間活用計画

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年	①図書利用オリエンテーション②図書利用オリエンテーション③図書利用オリエンテーション④図書利用オリエンテーション	(国)さとうしお (国)どうやってみるものかな	(国)どうやってみるものかな (国)ことばあそびうたをつくるう	(国)おおきななが (国)ことばあそびうたをつくるう	(国)かいがら (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (生)いきものとなかよし	(国)おはな、まよもよ／サラダでんき (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (国)おはな、まよもよ／サラダでんき	(国)おはな、まよもよ／サラダでんき (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (国)おはな、まよもよ／サラダでんき	(国)ふねのせつめい (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (生)あそびとなかよし	(国)こえにたしてよもう (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (国)おはな、まよもよ／サラダでんき	(国)おはな、まよもよ／サラダでんき (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (国)おはな、まよもよ／サラダでんき	(国)ちがいはかんがえよう (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (国)おはな、まよもよ／サラダでんき	(国)すきなところをつたえよう スイミー
2年	(国)ふきのとう (国)図書館たんけん	(国)いなばの 白うさぎ (国)たんぼぼのちえ	(国)スイミー (生)いきものととどろ	(国)お気に入りの本をしようかいしう／ミリーのすてきなぼうし (生)いきものととどろ	(国)どうぶつ園のじゆい (国)お手紙	(国)おもちの作り方をせつめいしよう (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (生)あそびとなかよし	(国)おもちの作り方をせつめいしよう (国)おはな、まよもよ／サラダでんき (生)あそびとなかよし	(国)みきのたからものほなびら／ほんたいてい (国)ロボット	(国)わこのこ／おとのほなびら／ほんたいてい (国)ロボット	(国)スーホの白い馬 (国)スーホの白い馬	(国)スーホの白い馬 (国)スーホの白い馬	
3年	①図書利用オリエンテーション②図書利用オリエンテーション③図書利用オリエンテーション④図書利用オリエンテーション	(社)市の様子 (国)自然のかくし絵	(国)チョウを育てよう (国)ワニのおにいさんのたからもの (国)ことばからおもいうかべて	(国)心が動くことを育てよう (国)三年生の本だな (国)新聞を作ろう	(国)紙ひこうき (国)慣用句を使おう (国)こんざつね	(国)興味をもったことをしようかいしう (国)モチモチの木 (国)未だから発見したことを伝えよう	(国)モチモチの木 (国)未だから発見したことを伝えよう (国)モチモチの木	(国)未だから発見したことを伝えよう (国)モチモチの木 (国)未だから発見したことを伝えよう	(国)慣用句に親しもう (国)カミツキガメは悪者か (国)ゆづり粉の小さな旅籠 (社)かわる道具とらブリック	(国)慣用句に親しもう (国)カミツキガメは悪者か (国)ゆづり粉の小さな旅籠 (社)かわる道具とらブリック	(国)正直のうつけい (国)ゆづり粉の小さな旅籠 (社)かわる道具とらブリック	(社)市のうつけい (国)ゆづり粉の小さな旅籠 (社)かわる道具とらブリック
4年	①図書利用オリエンテーション②図書利用オリエンテーション③図書利用オリエンテーション④図書利用オリエンテーション	(国)アップルズで伝える (社)こみほどこへ (国)白いぼし (国)図書館の達人になろう (国)漢字辞典を使おう	(国)一つの花 (国)新聞を作ろう (国)短歌を作ろう (国)短歌を作ろう	(国)本のPOPや帯をつくらう (国)神様の階段 (国)短歌を作ろう (国)短歌を作ろう	(国)忘れもの／ほくは川 (国)パンフレットを読もう (国)こんざつね (国)月と星	(国)忘れもの／ほくは川 (国)パンフレットを読もう (国)こんざつね (国)月と星	(国)忘れもの／ほくは川 (国)パンフレットを読もう (国)こんざつね (国)月と星	(国)忘れもの／ほくは川 (国)パンフレットを読もう (国)こんざつね (国)月と星	(国)忘れもの／ほくは川 (国)パンフレットを読もう (国)こんざつね (国)月と星	(国)忘れもの／ほくは川 (国)パンフレットを読もう (国)こんざつね (国)月と星	(国)忘れもの／ほくは川 (国)パンフレットを読もう (国)こんざつね (国)月と星	(国)忘れもの／ほくは川 (国)パンフレットを読もう (国)こんざつね (国)月と星
5年	①図書利用オリエンテーション②図書利用オリエンテーション③図書利用オリエンテーション④図書利用オリエンテーション	(国)インターネットが便利だ (国)おにぎり石の伝説 (国)図書館を使いこなそう (社)日本の国土と世界の国々	(社)自然条件と人々のくらし (国)いしへの言葉に親しもう (国)世界でいちばんやかいま	(国)新聞記事をよくみくらよう (社)米つゆ (国)魚のたんじょう (国)魚のたんじょう	(国)心の動きを短歌で表そう (国)注文の多い料理店 (国)注文の多い料理店 (国)注文の多い料理店	(国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら	(国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら	(国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら	(国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら	(国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら	(国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら	(国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら (国)大連いさんとがら
6年	①図書利用オリエンテーション②図書利用オリエンテーション③図書利用オリエンテーション④図書利用オリエンテーション	(国)時計の時間と心の時間 (国)帰郷 (国)公共図書館を活用しよう	(社)国づくへの歩み (国)私と本 (社)大連に学んだ国づくり (社)武士の政治がわかる	(国)私と本 (社)大連に学んだ国づくり (社)武士の政治がわかる (社)武士の政治がわかる	(国)せんねん まんな (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート	(国)せんねん まんな (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート	(国)せんねん まんな (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート	(国)せんねん まんな (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート	(国)せんねん まんな (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート	(国)せんねん まんな (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート	(国)せんねん まんな (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート	(国)せんねん まんな (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート (国)やまなし／イート

図書館の3つの機能「読書センター」「学習センター」「情報センター」に合わせた指導の重点に変更。

教科書の変更等に伴い、「学校図書館年間活用計画」も新たに作成。今後も更新していきます。

# レファレンスサービスと 教室貸し出し

レファレンスシートや C4th を活用して、忙しい先生方と司書とのコミュニケーションを図っている。

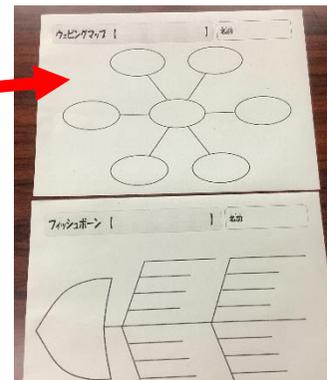
レファレンスシート(使いたい本をお知らせください)  
早通小学校図書館

10月以降で、授業で使いたい本がありましたら、お知らせください。  
学校の図書館にある本はすぐに貸出できますが、ない場合は新潟市の図書館から借りることができます。(貸出期間は1か月間、1校につき150冊まで。最高2週間までの貸出延長も可。)  
公共貸出の場合、2週間前までの申し込みが必要です。なるべく早めにご連絡ください。

学年	学年	担当者
教科		
単元名		
単元のねらい		
どのような活動をするのか		
キーワード(任意)	※使用したい本の、キーワードがありましたら記入してください。	
使いたい本	※本のタイトルがわからなければ、どのような本が必要かを記入してください。	
何冊必要か		
いつまでに必要か	令和 年 月 日 ( )	



# シンキングツールの説明と設置



最近はロイロノートのツールを使用することが多くなりましたが、図書館前にもシンキングツールのプリントを設置。図書館での調べ学習だけでなく、自主学習や休み時間でも自由に利用できるようにしている。

# 図書館と連携した授業



図書資料で野菜の育て方を調べ、自分たちが育てた野菜の成長を記録。(2年生)



特別支援学級も、図書館でタブレットと図書資料をうまく両立させて調べ学習を行った。



国語でおすすめの本のPOPを書いた4年生。POPと本と一緒に図書館で展示し、自分の紹介本が借りられると大喜び!



全校防災教室に向けて図書館でも防災関連展示を行った。



防災関連の図書資料を公共からも借りて図書館に配置。図書の時間や休み時間に防災の本を読み、防災教室への意識づけの一助になった。



### ③情報センターの充実

#### 新聞コーナーの設置



一人で読むよりも、休み時間に友だちと読むのが楽しい！

#### 新聞掲示用板設置

2・3週間ごとに1度、司書や図書委員が気になる新聞記事をピックアップ。関連本と一緒に図書館前に展示。



#### 百科事典の使い方の説明（4年生）



司書が百科事典（ポプラディア）の特徴や使い方を説明。「はてなシート」を使って調べる練習を行った。

# 書架・館内整美

## 知識絵本・小型絵本の棚設置（登録修正・ラベル張替え）



0～9類に分類されていた絵本や、「絵本」としてひとまとめに分類されていた本を、「物語絵本」「知識絵本」「小さい絵本」の3つに新たに分類し、図書システムの登録も変更。丸ラベルで色分けをして各棚を設置。絵本のみ貸出している1年生でも読める知識の本が増え、選択の幅が広がる。

## 教科書の棚整美



教科書の変更に伴い教科書の本棚を整美。来年度も教科書移行に伴い整美予定。

## 「図書館のやくそく」「館内図」「書架サイン」の整美



大きく色分けされて見やすい書架サイン。



「図書館のやくそく」を見やすく館内に掲示。



絵本の分類棚が増えたことで配架が変わったため、館内図も変更。





# 3. 図書館を活用した実践

『亀早モデル』を意識した授業実践



実際の新聞を読み比べ、書き手が「一番伝えたかったこと」は何なのかを話し合う授業を行いました。



新聞記事には、「見出し」「リード」「本文」「写真」があることや、その効果について、「新聞」に関連する図書を利用して、学習を進めました。

## 5年 国語「新聞記事を読み比べよう」



## 4. 成果と課題

①図書館全体計画を見直し，図書館の機能である「読書」「情報」「学習」に分けて記載

→指導の重点が明確化

②レファレンス数の増加 R5年度は16件

R6年度は25件（12月末現在）



→図書館活用が増えた

③中学校区で統一した「亀早モデル」を作成

→小中で連携した図書館活用指導が可能になった

図書館へ、行ってこようかな！

④様々な図書館イベントを行ったり，展示や掲示を工夫したりした

→休み時間の来館者数・貸し出し数増加



## メディアの活用

ネット情報を進んで活用しているが、情報が過多であることから、自分にとって、必要な情報のみを読み取ることが難しい様子が見られる。また、その情報が真実であるかどうかを正しく判別することができない。



→メディア（ネット・図書・新聞等）の特徴を理解し、適切に使用する力を身に付ける指導が必要である。

## 著作権に関する意識の向上

図書やネット情報を活用する際、著作権に気を付けながら要約・引用する能力を身に付けるために、中学年から段階的にネットリテラシーを学ぶ機会を設ける。

## 学校図書館活用計画の見直し

児童の実態に合わせ、今後も随時図書館活用計画の見直しを図る。



## 新聞の活用推進

今年度、新聞を活用した授業を中・高学年で行った。今後も図書館が率先し、新聞をより身近に感じられる方法を検討していく。